

# そこが聞きたい!! 一般質問

一般質問は、議員が市政全般について、自由なテーマで市長に質問・政策提言を行うもので、市民の声を市政に届けるものです。3月定例会では、1日、4日、5日の3日間、16人の議員が一般質問を行いました。ここでは、質問と答弁の一部をご紹介します。なお、質問の内容は、質問した議員が作成しています。



期日前投票をよりスムーズに

綿貫 伸子（公明党）

## 今回の主なテーマ

- ▶ スムーズな期日前投票
- ▶ 水道管の老朽化
- ▶ 婚活支援事業の現状

### ◆ 宣誓書の事前入手を

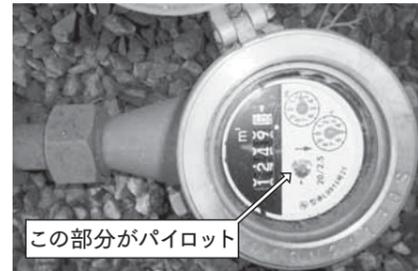
期日前投票の際、事前に宣誓書に記入して投票に臨みたいとの声がある。全国でも宣誓書を市のホームページからダウンロードできたり、投票所入場券に宣誓書を印刷するなどの工夫がある。当市でも導入を望むが見解は。選挙管理委員長 記入済みの宣誓書を持参できれば、時間短縮と投票環境の改善になることから、宣誓書をホームページからダウンロードできるよう早期に実現していく。

### ◆ 宅地内の水道の漏水に備えて

私有地の水道管は自分で管理しなければならないが、漏水修理を市の指定業者でない業者に依頼して、多額の費用を取られたり、水道

料金の減免が受けられないことがある。市民が対処できるよう環境整備してほしい。

上下水道部長 給水装置の修理や漏水による水道料金などの軽減は、原則として市指定の事業者へ依頼することとなる。このことは、検針時のお知らせやホームページ掲載、問い合わせにも説明しているが、一層周知に努める。



パイロットで漏水をチェック

この部分がパイロット



障害者就労施設から優先的に物品の調達を

磯野 和夫（公明党）

## 今回の主なテーマ

- ▶ 障害者優先調達推進法の施行にあたって
- ▶ 路線バスの利便性向上

### ◆ 障害者の自立に向けた就労支援

本年4月から障害者優先調達推進法が施行され、障害者の就労機会の増加と自立の促進が図られる。これにより自治体には、障害者就労施設などの受注機会の増大を図るための必要な措置を講ずる努力義務が課せられるが、具体的な取り組みは。

福祉子ども部長 今後、調達方針の作成や調達実績の概要の取りまとめ、公表などを行うものとされている。また、関係部局との調整や庁内への周知、関係団体との調整、さらには情報提供方法の検討なども対応する必要があり、関係する所属で課題の調整などに向けた協議の場を設けるなどで、法律に基づいた適切な対応を図っていききたい。

### ◆ 乗り継ぎ運賃割引制の導入を

路線バスは縮小傾向にある。利用者の利便性向上のため、乗り継ぎ運賃割引制の導入をバス事業者に要望してはどうか。

市民部長 今後の高齢社会を見通す中で、市民が安心できる安い運賃で利用できれば、バスへの依存度も増加すると思われる。今後、西武バスに割引制度の導入を要望していきたい。



国の生活保護基準の見直しは憲法違反では

猪股 嘉直（日本共産党）

## 今回の主なテーマ

- ▶ 狭山市の生活保護行政
- ▶ 市の保護を増やさない対策
- ▶ 市役所の休日オープン

### ◆ 生活保護をどのように考えるか

①生活保護のあるべき姿、権利としての生活保護についての市長の見解は。

②芸能人の母親の生活保護受給がマスコミで



相談者が訪れる窓口

騒がれたが、この一件は不正受給か。

③マスコミは不正受給の報道には熱心だが、なぜ生活困窮者が増えるのかという原因究明の報道はほとんどない。これをどう考えるか。

市長 ①社会保障制度の最も基本的なセ

ーフティーネットであり、今後もその任を担っていくべきと考える。運用にあたり、申請保護の原則を堅持していくべきものと考えている。

③貧困化の原因や対策に関する報道は、総体的には少ないと感じている。潜在的な問題を洗い出し、その対策を考えさせられる報道は、市民福祉の向上で導くことができる建設的な報道であり、こうした活動を行っていくことも報道機関の使命であると考えている。

福祉子ども部長 ②この場合は、福祉事務所からの扶養照会に、芸能人から援助の意思が示されておらず、母親には活用すべき資産、能力がなかったと判断されたため保護が開始され、その後は、仕送りについても申告がなされていたもので、法的に不正受給に当たらない。



平時に危機発生時を想定し可能な準備を

矢馳 一郎（無所属）

## 今回の主なテーマ

- ▶ 全国瞬時警報システム (J-ALERT)
- ▶ 各種サービスを利用したプロモーション活動

### ◆ 災害発生時の対応は

危機発生時に防災行政無線が聞こえにくい地域などへの対応として、「緊急速報エリアメール」を導入しては。

市民部長 エリアメールは、災害発生時の避難誘導など、市民、また一時的に市に来ている方にも、円滑で迅速な情報の提供などが行え、さらに、市民などへの安心・安全の取り組みとして有効なものと考えている。現在、緊急速報エリアメールの導入に向け、携帯電話キャリア各社と協議、検討を進めている。

### ◆ 狭山市の名を高めるために

狭山市駅に「お茶香るまち」などの副駅名をつけ、西武鉄道駅構内や車内アナウンスなど

で放送してもらうことで、ブランドイメージを高めては。

総合政策部長 お茶香るまちのアナウンスは、市のブランディングを高めるとともにイメージアップにもつながることから、機会をとらえ、西武鉄道に要請していきたい。



昨年命名された本川越駅の副駅名

ここに掲載していない一般質問の質問と答弁の概要は、ホームページでご覧いただけます。ホームページをご覧にならない方には、FAXまたは郵送でお届けしますので、議会事務局にご連絡ください。

04-2953-1111 内線3313